

## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月28日

上場会社名 デクセリアルズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4980 URL http://www.dexerials.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一ノ瀬 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部門長 (氏名) 左奈田 直幸 TEL (03)-5435-3941  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	48,677	—	6,676	—	6,726	—	4,509	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 包括利益28年3月期第3四半期 4,231百万円（-%） 27年3月期第3四半期 一百万円（-%）  
 2. 当社は、平成27年3月期第3四半期連結累計期間においては四半期連結財務諸表を作成していません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	71.57	70.32
27年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は平成27年5月27日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	89,678	56,920	63.5	903.49
27年3月期	88,979	54,421	61.2	863.82

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 56,920百万円 27年3月期 54,421百万円

(注) 1株当たり純資産は、前連結会計年度期首に平成27年5月27日付株式分割が行われたと仮定して算定しています。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	27.50	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	32.50	60.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 28年3月期期末配当金（予想）の内訳 普通配当27円50銭 記念配当5円00銭  
 配当予想の修正については、本日（平成28年1月28日）公表の「期末配当予想の修正（東証一部上場記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 年間配当金は、平成27年5月27日付株式分割後ベースで算定しています。

(参考) 連結配当性向 平成28年3月期（予想）65.17% のれん償却前連結配当性向 平成28年3月期（予想）49.74%

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,500	4.6	9,000	△6.4	8,700	△11.9	5,800	△45.9	92.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 1株当たり当期純利益は、平成27年5月27日付株式分割後ベースで算定しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	63,000,000株	27年3月期	63,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	一株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	63,000,000株	27年3月期3Q	63,000,000株

（注）当社は平成27年5月27日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。上記の発行済株式数は、前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日、以下「当期」)における当社グループの業績は、主力の異方性導電膜カテゴリの売上が増加したものの、スマートフォンやタブレットPC、ノートPCなどの最終製品市場の市況悪化を背景に、接合関連材料カテゴリなどで売上が減少した結果、売上高は48,677百万円(前年同期比2.6%減少)、営業利益は6,676百万円(前年同期比22.6%減少)となりました。経常利益は為替差益の計上などで6,726百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,509百万円となりました。

(参考) 平成27年3月期第3四半期の連結業績及びセグメント業績 (単位:百万円)

売上高	49,996
営業利益	8,622

光学材料部品セグメント		電子材料部品セグメント	
売上高	21,973	売上高	28,165
営業利益	3,592	営業利益	6,378

- (注) 1. 平成27年3月期第3四半期の売上高及び営業利益の各数値はPwCあらた監査法人の監査又はレビューを受けていませんが、本決算短信添付資料では参考値として前年同期比較の分析等に用いています。
2. セグメントの売上高にはセグメント間取引が含まれています。
3. 各セグメントの営業利益の合計と連結営業利益の差異はのれん償却額に相当します。

各セグメントの業績、ならびに製品カテゴリ別の売上状況は以下のとおりです。

#### ①光学材料部品事業

(単位:百万円)

	当期	前年同期	増減率
売上高	21,784	21,973	△0.9%
営業利益	2,431	3,592	△32.3%

(注) 売上高にはセグメント間取引が含まれています。

当期においては前年同期に比べて、光学ソリューションカテゴリにおいて新規案件の獲得があり増収となりましたが、光学フィルムカテゴリ及び光学樹脂材料カテゴリが減収となった結果、セグメント全体の売上高は前年をわずかに下回り21,784百万円(前年同期比0.9%減)となり、営業利益も2,431百万円(前年同期比32.3%減)となりました。

#### ②電子材料部品事業

(単位:百万円)

	当期	前年同期	増減率
売上高	27,036	28,165	△4.0%
営業利益	5,595	6,378	△12.3%

(注) 売上高にはセグメント間取引が含まれています。

当期においては、異方性導電膜カテゴリではカメラモジュール用ACFなどのディスプレイ以外の用途向け製品の売上が好調に推移したことにより、売上が増加しました。一方で、接合関連材料カテゴリ及びリチウムイオン電池2次保護素子カテゴリでは、最終製品の需要減少の影響を受け、売上が減少しました。その結果、当セグメントの売上高は27,036百万円(前年同期比4.0%減)となり、営業利益は5,595百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当期末における資産合計は89,678百万円となり、前連結会計年度末(平成27年3月31日、以下「前期末」)に比べ698百万円の増加となりました。

流動資産は36,520百万円となり、前期末に比べ430百万円の減少となりました。主な要因は、繰延税金資産が1,119百万円、商品及び製品が477百万円減少し、現金及び預金が591百万円、受取手形及び売掛金が283百万円増加したことです。

固定資産は53,157百万円となり、前期末に比べ1,129百万円の増加となりました。主な要因は、建設仮勘定が1,567百万円、土地が1,187百万円増加し、のれん償却等により無形固定資産が1,579百万円減少したことです。

(負債の部)

当期末における負債合計は32,758百万円となり、前期末に比べ1,800百万円の減少となりました。

流動負債は15,723百万円となり、前期末に比べ111百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が374百万円増加したことです。

固定負債は17,034百万円となり、前期末に比べ1,912百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が1,500百万円、退職給付に係る負債が461百万円減少したことです。

(純資産の部)

当期末における純資産合計は56,920百万円となり、前期末に比べ2,499百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を4,509百万円計上したことと、配当により1,732百万円減少したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の実績、及び第4四半期連結会計期間(平成28年1月1日～3月31日)の業績予想を踏まえ、平成27年7月29日に公表した平成27年度連結業績予想を以下の通り修正します。

平成28年3月期連結通期業績予想

(単位:百万円)

	平成28年 1月28日 発表値	前期比 増減率	平成27年 7月29日発表 値との差異	(参考)	前期比 増減率	前期実績
				平成27年 7月29日 発表値		
連結売上高	68,500	4.6%	-9.4%	75,600	15.4%	65,508
営業利益	9,000	-6.4%	-24.4%	11,900	23.8%	9,611
経常利益	8,700	-11.9%	-24.3%	11,500	16.5%	9,870
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,800	-45.9%	-17.1%	7,000	-34.7%	10,721

当社グループは高機能材料メーカーとして光学材料及び電子材料の事業領域で製品を展開しており、事業の特性上、スマートフォン、タブレットPC、ノートPC等の最終製品で使用される中小型ディスプレイや電子部品関連業界の動向の影響を受けやすい傾向がありますが、今下期以降、これらコンシューマーIT製品市場の成長鈍化ないし縮小が起きており、2015年の秋以降、当社を取り巻く事業環境が急速に変化いたしました。

このような最終製品市場の変調の影響などを受け、当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日、以下「当期」)の売上高は計画比13%減の48,677百万円となりました。

セグメント別および内訳としてのカテゴリー別の状況は以下のとおりです。

光学材料部品セグメントの当期の売上高は、主に光学ソリューションカテゴリーおよび光学樹脂材料カテゴリーの売上高がそれぞれ想定を大幅に下回ったことにより、計画比18%減の21,784百万円となりました。

- ・光学ソリューションカテゴリー：期初時点ではディスプレイパネルの貼り合わせ事業の新規案件として獲得した電子書籍端末向けパネルの貢献を相当分見込んでいました。しかしながら、電子書籍端末業界にタブレットPCが有力な競合相手として台頭してきたこともあり一段と競争環境が厳しくなったことの影響を受け、当社へのパネル貼り合わせ発注数量が想定を約40%下回ったことにより、売上高は計画比34%減少しました。
- ・光学樹脂材料カテゴリー：期初時点では採用製品数の増加によりタブレットPC向けのハイブリッドSVRの増加を見込んでおりました。しかしながら、2015年の夏以降、タブレットPCの市場成長率の切り下がりが加速した影響を受け、当該製品の販売数量は、その一部が第4四半期にずれ込んだものも含めて想定を約20%下回った結果、売上高は計画比9%減少しました。

電子材料部品セグメントの当期の売上高は、主に接合関連材料およびリチウムイオン電池2次保護素子カテゴリーの売上高がそれぞれ想定を下回ったことにより、計画比8%減少の27,036百万円となりました。なお、異方性導電膜(ACF)カテゴリーの売上高はほぼ計画どおりでした。

- ・接合関連材料カテゴリー：当社製品はノートPCおよびタブレットPC向けに多くの製品を販売しており、カテゴリーの売上もこれら最終製品向けに大きく依存しています。しかしながら、ノートPC、タブレットPC業界では2015年に入り市場成長率が想定を上回るペースで切り下がり、夏以降には両方の市場成長率が数量ベースでマイナスに転じるなど、市況悪化が鮮明になりました。これに起因した最終製品の生産数量減少と、それに伴う価格競争の激化の影響を受け、当社では特に製品の販売数量が想定を約30%下回り、売上高は計画比26%減少しました。
- ・リチウムイオン電池2次保護素子カテゴリー：当社製品は特にノートPC、タブレットPC向けに強みを持っており、カテゴリーの売上もこれら最終製品に大きく依存しています。しかしながら、接合関連材料カテゴリーで説明のとおり、当該最終製品の市況悪化に起因した最終製品の生産数量減少と、それに伴う価格競争の激化の影響を受け、当社では特に製品の販売数量が想定を約20%下回り、売上高は計画比22%減少しました。
- ・異方性導電膜(ACF)カテゴリー：当社が得意とする、中小型を中心とするディスプレイ向けACFは最終製品需要の弱含みの影響を若干受けたものの、カメラモジュール用ACFを中心にディスプレイ以外の用途向け製品の販売は順調に推移し、売上高はほぼ期初計画並みを確保しました。

一方で、当期の営業利益については全社的な費用削減を進めたものの、接合関連材料、光学樹脂材料ならびにリチウムイオン電池2次保護素子カテゴリにおける売上の計画未達による利益の減少、および売上未達に終わった光学ソリューションカテゴリの損益が赤字になったことなどにより、計画比22%減の6,676百万円となりました。また、営業利益の減少の影響により、経常利益は6,726百万円、親会社に帰属する四半期純利益は4,509百万円となりました。

こうした状況下、当社では業績回復に向けた対応施策を実施した結果、第4四半期の売上高はほぼ期初計画並みとなり、通期売上高は計画比9%減の68,500百万円となる見込みです。

セグメント別および内訳としてのカテゴリ別の状況は以下のとおりです。

光学材料部品セグメントの第4四半期の売上高は計画比約25%増となるものの、通期では計画比6%減の34,200百万円となる見込みです。

- ・光学ソリューションカテゴリでは、電子書籍端末以外のパネル貼り合わせの新規案件獲得により第4四半期の売上高は計画を約120%上回り、同カテゴリの通期売上高は期初計画を若干上回る見込みとなりました。
- ・光学樹脂材料カテゴリでは、ハイブリッドSVRの前四半期での売上想定分の一部が第4四半期にずれ込むことになったものの、今後の拡販を狙った戦略的な価格設定を行った影響により通期売上高は若干の計画未達となる見込みです。

電子材料部品セグメントの第4四半期の売上高は計画比約25%減となり、通期では計画比13%減の34,500百万円となる見込みです。

- ・接合関連材料およびリチウムイオン電池2次保護素子カテゴリについては、対応策として今後新製品の導入を順次進めてまいります。顧客による評価などに時間を要するため第4四半期も厳しい状況が続くとみられ、通期売上高でもそれぞれ計画を約30%、約25%下回る見込みです。
- ・異方性導電膜カテゴリでは、第4四半期における最終製品の生産数量減少の影響を受け、通期売上高は期初計画を若干下回る見込みです。

一方、第4四半期の営業利益については、人件費や設備投資の抑制を含めて全社で追加的な費用削減に取り組んでいるものの当初の計画には届かず、従って通期の営業利益も期初の計画を24%下回る見込みとなりました。

以上が、平成28年3月期の通期業績予想を修正した理由となります。

(注) 第4四半期の為替水準の設定は1米ドル=120円です。

#### <業績予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,456	17,048
受取手形及び売掛金	11,951	12,235
電子記録債権	—	47
商品及び製品	1,906	1,429
仕掛品	1,495	1,483
原材料及び貯蔵品	1,298	1,474
繰延税金資産	2,270	1,151
その他	1,588	1,668
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	36,951	36,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,011	23,204
減価償却累計額	△17,504	△17,835
建物及び構築物(純額)	5,506	5,369
機械装置及び運搬具	37,460	34,976
減価償却累計額	△32,860	△30,141
機械装置及び運搬具(純額)	4,599	4,835
土地	2,432	3,620
建設仮勘定	472	2,040
その他	868	879
有形固定資産合計	13,879	16,745
無形固定資産		
のれん	31,488	30,142
特許権	3,498	3,193
その他	1,225	1,297
無形固定資産合計	36,212	34,633
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,601	1,416
その他	334	362
投資その他の資産合計	1,935	1,779
固定資産合計	52,028	53,157
資産合計	88,979	89,678



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,367	5,742
電子記録債務	1,431	1,285
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払金	2,424	2,130
未払費用	1,030	994
賞与引当金	1,718	1,162
繰延税金負債	7	7
その他	631	1,401
流動負債合計	15,611	15,723
固定負債		
長期借入金	12,500	11,000
退職給付に係る負債	6,177	5,716
繰延税金負債	21	21
その他	247	295
固定負債合計	18,946	17,034
負債合計	34,558	32,758
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,747	15,747
資本剰余金	15,747	15,747
利益剰余金	18,632	21,408
株主資本合計	50,127	52,903
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	22	32
為替換算調整勘定	2,915	2,694
退職給付に係る調整累計額	1,356	1,289
その他の包括利益累計額合計	4,293	4,016
純資産合計	54,421	56,920
負債純資産合計	88,979	89,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	48,677
売上原価	28,621
売上総利益	20,056
販売費及び一般管理費	13,379
営業利益	6,676
営業外収益	
受取利息	4
為替差益	281
その他	55
営業外収益合計	341
営業外費用	
支払利息	85
株式公開費用	154
その他	51
営業外費用合計	291
経常利益	6,726
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	31
特別損失合計	31
税金等調整前四半期純利益	6,695
法人税、住民税及び事業税	854
法人税等調整額	1,331
法人税等合計	2,186
四半期純利益	4,509
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,509

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,509
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	10
為替換算調整勘定	△221
退職給付に係る調整額	△66
その他の包括利益合計	△277
四半期包括利益	4,231
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	4,231
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学材料部品	電子材料部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,778	26,899	48,677	—	48,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	136	143	△143	—
計	21,784	27,036	48,821	△143	48,677
セグメント利益	2,431	5,595	8,026	△1,349	6,676

(注) セグメント利益の調整額△1,349百万円は、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額です。

(参考) 海外売上高: 35,683百万円